

宮城県感染症発生動向調査情報
2022.9.5 ~ 2022.9.11 - 第36週 -

令和04年09月15日発行

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所					仙台市	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計	第33週	第34週	第35週	第36週
水痘		1 0.10		1 0.13			2 0.03	182				
流行性耳下腺炎				1 0.13		1 0.04	2 0.03	59				
感染性胃腸炎	12 3.00	29 2.90	24 3.43	9 1.13		36 1.33	110 1.90	8,869	◎	◎	◎	◎
手足口病	79 19.75	94 9.40	91 13.00	126 15.75	12 6.00	314 11.63	716 12.34	3,355	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑							0 0.00	39				
突発性発しん	3 0.75	2 0.20	3 0.43	1 0.13	1 0.50	11 0.41	21 0.36	876				
ヘルパンギーナ	11 2.75	14 1.40	25 3.57	16 2.00		53 1.96	119 2.05	646	○	◎	◎	◎
インフルエンザ							0 0.00	18				
咽頭結膜熱		3 0.30				1 0.04	4 0.07	242				
流行性角結膜炎		1 0.33				2 0.33	3 0.25	70				
急性出血性結膜炎							0 0.00	1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6 1.50	1 0.10					7 0.12	460				
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	1 1.00		1 0.50				2 0.17	5				
無菌性髄膜炎							0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎							0 0.00	15				
クラミア肺炎(オウム病は除く)							0 0.00	0				
RSウイルス感染症	39 9.75	18 1.80	3 0.43			74 2.74	134 2.31	526	○	○	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)							0 0.00	1				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)			1		1						
	川崎病								◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向			
	不明発疹症					2						

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

塩釜管内 男性1名
結核(無症状病原体保有者)
塩釜管内 男性1名
石巻管内 女性1名
仙台管内 男性1名(第35週), 女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症

気仙沼管内 女性1名(O型不明)

4類感染症: レジオネラ症

大崎管内 男性1名(第32週)
仙台管内 男性1名

5類感染症: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

大崎管内 男性1名(第34週)
水痘(入院例)
石巻管内 男性1名(第35週)
梅毒
大崎管内 男性1名
仙台管内 男性2名, 女性1名
百日咳
仙台管内 男児1名*

新型インフルエンザ等感染症: 新型コロナウイルス感染症(患者総数)

宮城県(仙台市を除く) 5,086名
仙台市 4,707名

※男児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

【手足口病】

仙南, 塩釜, 大崎, 石巻, 気仙沼, 仙台管内で、警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

新型コロナウイルス感染症患者より

石巻管内 第36週採取分 SARS-CoV-2 6件
気仙沼管内 第36週採取分 SARS-CoV-2 7件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第33週採取分 (8.15~8.21)	第34週採取分 (8.22~8.28)	第35週採取分 (8.29~9.4)
RSウイルス	6件	6件	3件
アデノウイルス	0件	0件	1件
ライノウイルス	0件	0件	1件
単純ヘルペスウイルス	0件	0件	1件
サイトメガロウイルス	0件	0件	1件
パライフルエンザウイルス1型	1件	4件	0件

4. 今週のコメント

【新型コロナウイルス感染症】

県内の陽性公表者数は、9月14日に1,295名となり、同日現在の累計で246,590名となりました。最近の動向を1週間あたりの推移で見ると、第34週19,573名、第35週13,467名、第36週9,747名と減少傾向にあります。依然として高い水準を維持しています。

県は「みやぎBA.5対策強化宣言」を9月末までに延長しています。また、医療機関や保健所の負担軽減のため、9月2日から発生届の提出範囲を重症化リスクのある者に限定する取扱いを開始しました。県民の皆様におかれましては、陽性判明後、届出対象の方とそれ以外の方で療養解除までの流れが異なりますので、詳細な内容については下記URLをご参照ください。
<https://www.pref.miyagi.jp/site/covid-19/yoseishindan.html>

【手足口病・ヘルパンギーナ】

手足口病の県内の患者報告数は第26週以降、増加傾向が続いており、県内全域で警報レベルを継続中です。今週は今シーズンで最も多く、特に仙南, 塩釜管内では先週から大幅に増加しています。

また、ヘルパンギーナの県内の患者報告数は第32週以降、5週連続で増加しています。引き続き今後の動向に注視するとともに、家庭内のほか、学校・保育園等の集団生活での感染に特に注意してください。

【RSウイルス感染症】

3週連続で患者報告数が増加しており、特に、仙南, 塩釜, 仙台管内で流行がみられます。仙台医療センターウイルスセンターでもRSウイルスの分離報告が継続していることから、今後の動向に注視してください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

